

第 5 章

ダイオキシン類

第5章 ダイオキシン類

ダイオキシン類とは、ある一つの物質を指すものではなく、ポリ塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシン(PCDD)75種類とポリ塩化ジベンゾフラン(PCDF)135種類をまとめた総称です。また、ダイオキシン類と同様な毒性を示すコプラナーポリ塩化ビフェニル(コプラナーPCB)10数種類もダイオキシン類似化合物と呼ばれており、ダイオキシン類の濃度調査等ではコプラナーPCBも併せて調査します。

ダイオキシン類は、工業的に製造しているものではなく、ゴミ焼却などにもともない自然に生成してしまう物質であり、発生源は多岐にわたっています。高い毒性が指摘され大きな社会問題ともなりましたが、わが国の通常の一般環境中の濃度レベルでは、危険はないと言われています。

第1節 ダイオキシン類の現況

1. ダイオキシン類調査

一般環境におけるダイオキシン類の汚染濃度を把握するため、大気・水質・土壌でそれぞれ調査を実施しました。

(1) 大気調査

令和6年度の大気調査は、交野市役所庁舎屋上において年4回、1週間の調査を実施しました。年間の平均値は0.010pg-TEQ/m³で環境基準値の0.6pg-TEQ/m³を下回っています(表5-1)。経年変化では平成15年度まで大きく低下し、平成16年度以降は緩やかな減少傾向が続き、近年は横ばいで推移しています(図5-1)。

大阪府等が令和6年度実施した府下23地点での調査結果の濃度範囲は0.0064～0.040pg-TEQ/m³で、平均値は0.015pg-TEQ/m³であり、各地点とも環境基準を達成していました。

表5-1 大気中ダイオキシン類調査結果

調査日	調査結果 (pg-TEQ/m ³)
R6.6.6～R6.6.13	0.0086
R6.9.6～R6.9.13	0.013
R6.12.6～R6.12.13	0.0091
R7.2.13～R7.2.20	0.0097
年間平均値	0.010
環境基準値	0.6

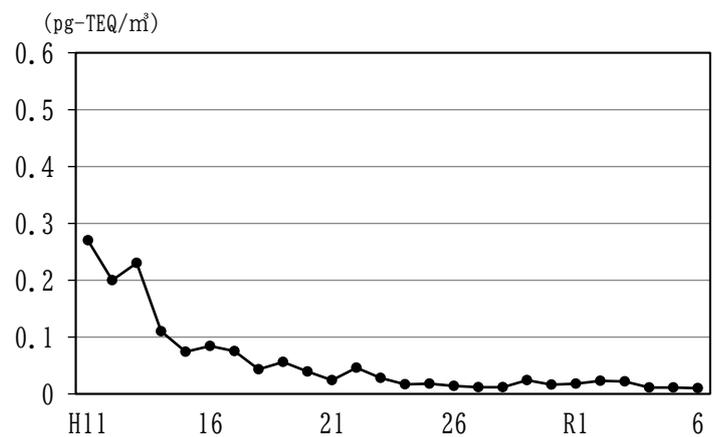


図5-1 大気中ダイオキシン類(経年推移)

(2) 水質調査

① 公共用水域の水質(河川水質)

令和6年度の河川水質調査は、本市を縦断する一級河川天野川の交野市域における上流(私市9丁目)と下流(枚方市境)で調査を年1回実施しました。結果はそれぞれ0.074、0.088pg-TEQ/Lであり、環境基準値の1pg-TEQ/Lを下回っていました(表5-2)。枚方市境における経年変化は概ね横ばいで推移しています(図5-2)。

大阪府等が令和6年度実施した府下64地点での河川水質調査では、濃度範囲は0.035～0.70pg-TEQ/L、平均値は0.21pg-TEQ/Lであり、各地点とも環境基準を達成していました。

表5-2 河川ダイオキシン類調査 (単位:pg-TEQ/L)

調査日	調査地点	調査結果	環境基準値
R6.12.4	天野川 (枚方市境)	0.088	1
	天野川 (私市9丁目)	0.074	

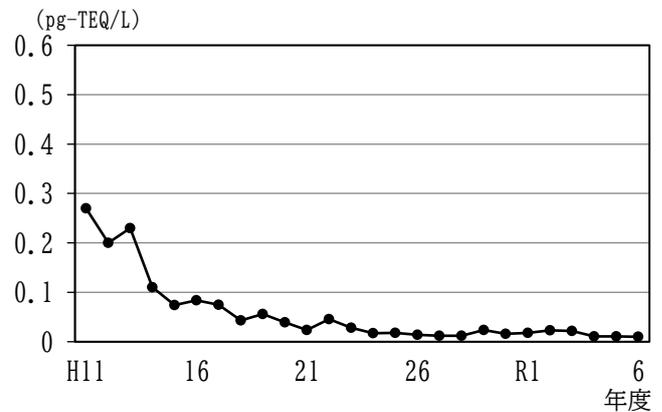


図5-2 河川ダイオキシン類 (経年推移)
※調査地点:枚方市境

②地下水質

令和6年度の地下水質調査は、本市では実施していません。過去、市内で実施された地下水中のダイオキシン類調査結果は、表5-3のとおりです。また、大阪府等が令和6年度実施した府下20地点での調査結果の濃度範囲は、0.015~0.54pg-TEQ/L、平均値は0.087pg-TEQ/Lであり、各地点とも環境基準を達成していました。

表5-3 地下水中ダイオキシン類調査結果 (pg-TEQ/L)

調査日	調査地点	調査結果
H12.9.15	防災井戸 (星田小学校内)	0.058
H13.10.30	防災井戸 (教育文化会館内)	0.13
H15.2.5	私市6丁目井戸	0.080
H15.10.20	防災井戸 (第一中学校前)	0.11
H17.9.1	防災井戸 (長宝寺小学校内)	0.024
H19.11.3	防災井戸 (森区民ホール内)	0.023
H20.11.19	防災井戸 (南星台)	0.063
H24.11.13	私市9丁目井戸	0.029
H25.11.12	私市9丁目井戸	0.016
H26.11.10	私市9丁目井戸	0.041
H27.11.10	私市9丁目井戸	0.014
H28.12.7	私市9丁目井戸	0.017
H29.11.27	私市9丁目井戸	0.013
H30.11.27	私市9丁目井戸	0.057

(3) 土壌調査

令和6年度の土壌調査は、市水道局の高区配水池と特高区配水池において実施しました。結果はそれぞれ4.1、22pg-TEQ/gであり、環境基準値の1,000pg-TEQ/g以下でした(表5-4)。一般環境中の土壌で大阪府などが実施した調査では、府下24地点で濃度範囲は0.0017~11pg-TEQ/g、平均値は2.1pg-TEQ/gであり、各地点とも環境基準を達成していました。土壌中のダイオキシン類調査は、その地点における大気等からの蓄積を調査する側面が強いため、定点監視でなく毎年地点を変更しています。過去の土壌中ダイオキシン類の調査結果については、表5-5のとおりです。

表5-4 土壤中ダイオキシン類調査結果 (単位:pg-TEQ/L)

調査日	調査地点	調査結果	環境基準値
R6.10.15	市水道局高区配水池敷地内	4.1	1,000
	市水道局特高区配水池敷地内	2.2	

表5-5 土壤中ダイオキシン類調査結果 (単位:pg-TEQ/L)

調査日	調査地点	調査結果
H12.8.25	梅が枝公園	18
	東田中央公園(倉治7丁目)	8.3
H12.9.25(※)	星の森ちびっこ広場(星田7丁目)	5.0
H13.10.23	松塚公園	1.0
	妙見東中央公園(妙見東3丁目)	1.4
H13.10.23(※)	防災多目的広場(星田北5丁目)	0.81
H14.10.30	免除川公園(私部6丁目)	1.1
	ちびっこ広場いちよう(私市4丁目)	3.3
	星田公園(星田3丁目)	0.52
H15.11.10(※)	天野が原北公園(天野が原町1丁目)	2.1
	あさひ幼稚園(星田5丁目)	4.7
	公社保有地(星田6丁目)	3.2
H15.12.9	天野が原西公園(天野が原町2丁目)	5.4
	百重が原ちびっこ広場(私市山手3丁目)	0.066
	向井田第4ちびっこ広場(向井田1丁目)	0.30
H16.12.8(※)	倉治公園グラウンド(神宮寺2丁目)	0.38
H16.12.9	リニアパーク南公園(星田西5丁目)	0.043
	天野川緑地(藤が尾1丁目)	11
	青い鳥ちびっこ広場(幾野3丁目)	6.9
H17.9.1(※)	府立交野養護学校(寺4丁目)	0.61
H17.10.14	三角公園(幾野6丁目)	5.6
	私市山手南公園(私市山手5丁目)	11
	南星台4丁目広場	6.9
H18.10.17	交野小学校	0.65
	第四中学校	0.68
	旭小学校	0.66
H19.10.24	長宝寺小学校	1.9
	郡津小学校	0.33
	第二中学校	1.4
H19.11.13(※)	私市小学校	0.10
H20.10.28	岩船小学校	0.24
	倉治小学校	0.46
	第一中学校	0.095

H21.10.22	星田小学校	0.64
	妙見坂小学校	0.19
	第三中学校	0.40
H22.10.26	くらやま幼児園	0.63
	私部公園グラウンド	0.28
	藤が尾小学校	0.11
H23.12.1	交野保育園	0.17
	第2きんもくせい保育園	1.5
H24.10.16	倉治保育園	0.17
	星田保育園	6.1
H24.11.13 (※)	学校法人関西創価学園	0.033
H25.10.16	わかば保育園	0.82
	ふじが丘保育園	2.5
H26.10.14	あまだのみや幼児園	4.3
	私部保育園	1.6
H27.9.7	倉治図書館	4.5
	いきものふれあいの里	2.5
H28.10.4	妙見東中央公園	1.3
	私市小学校	0.095
H28.12.7 (※)	大阪府民の森くろんど園地	2.0
H29.10.10	星田山手中公園	5.2
	総合体育施設	0.025
H30.10.19	磐船駅北2号公園	1.9
	柴野第3ちびっこ広場（私部西3丁目）	7.4
R1.10.16	カンガルーちびっこ広場（妙見坂1丁目）	1.6
	桜園ちびっこ広場（倉治2丁目）	3.3
R2.10.7	東倉治3丁目地内広場	0.79
	創造の森（大字星田5091-6）	5.2
R3.10.5	郡津多目的広場	1.0
	倉治公園	6.8
R4.10.5	山之上ちびっこ広場	0.96
	自然環境整備用地	6.9
R5.10.3	トナカイちびっこ広場	6.1
	天野川緑地	1.4

※大阪府実施

第2節 ダイオキシン類の対策

日本では、ダイオキシン類の約9割が家庭ゴミや産業廃棄物の焼却から発生している状況であったため、平成9年12月から大気汚染防止法や廃棄物の処理及び清掃に関する法律による規制や、ごみ焼却施設の改善が進められてきました。また、平成12年1月からは、ダイオキシン類対策特別措置法により、環境の監視や汚染の除去なども含めた総合的な対策が推進されています。今後も発生源となる施設を設置している事業所に対し、排出抑制を徹底するよう大阪府とともに指導し、また環境中におけるダイオキシン類の汚染状況などを継続的に調査・監視を実施していきます。